

究極のBPM実践技術とノウハウの習得道場

BPE・BPM実践プロフェッショナル・養成塾発足

プロセスアナリストの基本技術BPEは、競争優位S I ' e rの原点です

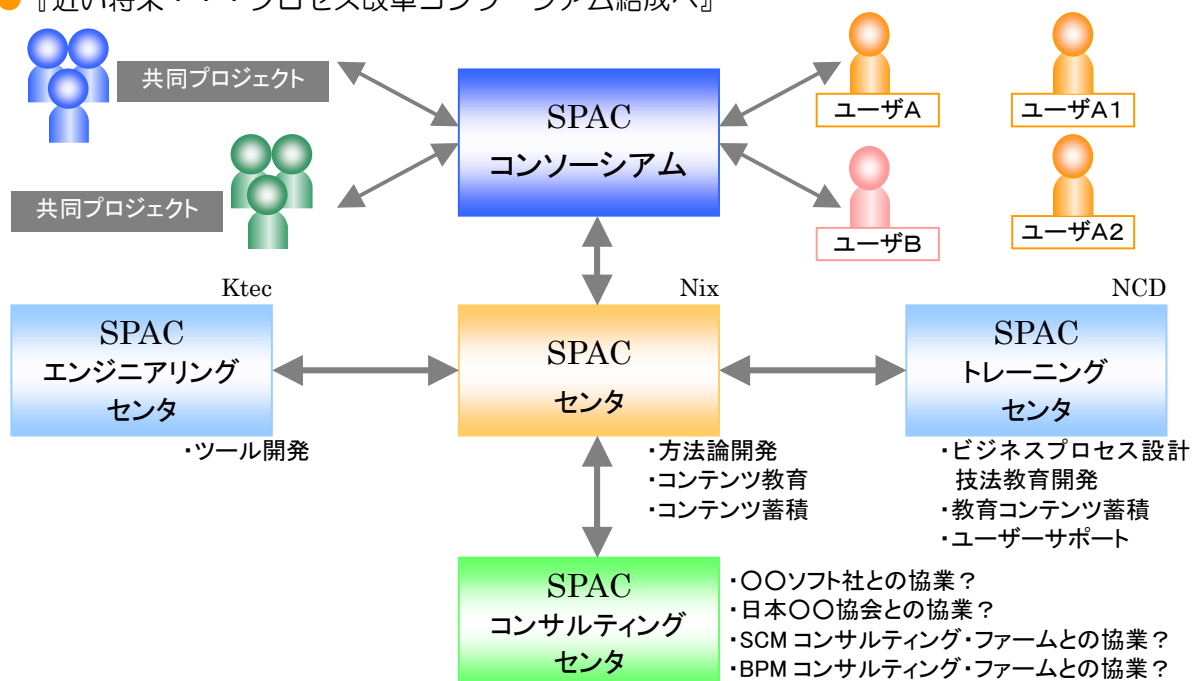
BPEアプローチ経営の実現手段は？

- 持続経営の原動力は、たゆみないプロセス改革です。 ※IPO=Input Process Output
- プロセスとそのIPO(※)が見えなければ、どうにも手の付けようがありません。
- ビジネスの継続的可視管理・誰でも分かるビジネス改革法がSPACナビ10です。
- SPACナビ10は最小の投資で最大の競争力を保持する人材強化のツールです。
- SPACナビ10はBPM実践による競争優位持続のプロセス管理経営システムです。



BPEプロフェッショナル養成：吉原塾とは？

- 吉原塾はプロセス改革とBPM実践プロフェッショナルの人材養成塾です。
- 『近い将来・・・プロセス改革コンソーシアム結成へ』



志ある人材は



吉原塾へお出で下さい



第6回

BPM/BPEプロフェッショナル 養成コース開催

BPM = Business Process Management

BPE = Business Process Engineering

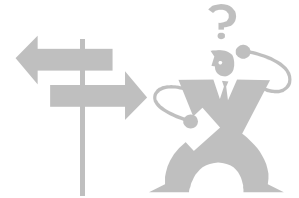
吉原塾はBPEプロフェッショナル養成のため、プロセス志向経営管理の技術養成機関として開設し、2009年10月、第1回を実施しました。

何事を成すにも人材育成なしに実現は不可能です。

確かに、数多くの欧米ベンダーによるBPMモデラーや、ワークフローBPMエンジンが紹介され、SOX法を機にBPMモデラーの普及は加速されてきました。

しかし、経営競争力強化のプロセス志向経営を目指す真のBPMは、問題提起だけが先行して、やり方も無く、ただ立ち止まっているように見えます。昨年来の大不況は、これに拍車をかけ、ますます失速状態にあるように思います。

もっとも、この停滞の根本的問題は、方法論無きBPMでは個人技の域を出ることができないことです。



確かなBPE（ビジネスプロセスエンジニアリング）が、この壁を突破できるでしょう。そして、組織的BPMを実現できるでしょう。

その方法となるBPEが吉原塾にあります。

これを **SPAC** と言います。



この方法論に基づくプロセスデザインエンジン・SPACナビ10を駆使して、継続的BPMの方法を習得するために、1ヶ月の基礎コースそして1ヶ月単位の応用コースを用意いたしました。

志ある企業の経営管理幹部や、社内外のBPMプロフェッショナルを目指される人材の参集をお待ち申し上げます。

できることなら、吉原賢治に続く後継者たらん方の参加を心待ちにしています。

まずは、BPMスペシャリストの養成コースが『いかなるものか?』、次ページ以降の「コース参加者のご意見・ご感想」をご覧ください。

吉原塾の

第6回BPM/BPE プロフェッショナル養成コース開講

■日時

第1日：1月 29日（土）

第2日：2月 5日（土）

第3日：2月 12日（土）

第4日：2月 19日（土）

土曜開催 4日間実施

■場所：NCD本社会議室

■お申込み方法

弊社HP下記URLから
お申込ください。

BPM／BPEコンサルタント養成コース

参加者のご意見・ご感想

クラレイ株式会社 常務取締役 沖 洋次氏

毎週土曜日、4回出席大変だと思いましたが、あっという間に1ヵ月過ぎてしまいました。

私の勉強不足で、先生の意図することが理解できたかどうか分かりませんが、これを機会に学習して体系的な知識を身につけて、自社の業務改善に生かしたいと思えます。

そのためにも、ツールとしてのSPACも必要であると思えますが、導入コストが制約条件となると考えます。

株式会社ビズモ 代表取締役 鈴木高弘氏

4日間でしたがかなり濃い内容で吉原先生の経験の豊富さをかいま見ることができ大変勉強になりました。

吉原先生の豊富な経験をもとに業務フローの書き方の枠組みを整理されたSPACは、これから業務改善をされる方々に非常に有効な方法論です。

サプライチェーンや3PLなど豊富なサンプルもあり分かり易い内容にまとめられています。

ぜひこの機会を利用して吉原先生のノウハウを伝授してもらいましょう。

新日鉄ソリューションズ株式会社 社会・科学ソリューション事業部 シニア・マネージャー 栗林義明氏

(1ヶ月を通しての感想を含め、列記させていただきます)

- ①何よりも吉原先生の講義を間近で受講できた事。
又、普段は御会いすることのない方々からの有意義なお話を聞くことができた事。
この貴重な体験ができたことに感謝しております。
- ②講義内容についてですが、「SPACの概念」と「ナビ10の利用方法」の2つの視点を、もう少し明確にした方が受講者にとっても理解度にブレが少なくなるような気がしました。
- ③個人的には(どちらかと言うと、IT系の人間であるため)ナビ10の操作/使い方は理解できました。
又、休日実施というのも、平日の日程調整が難しい私にとっては好都合でした。
- ④講義の中で一番楽しかったのは、吉原先生の貴重な経験談や雑談でした。
H・BPM→IT・BPMを如何に繋ぐか、この問題を解決するためのSPACの概念は素晴らしいと思えます。
- ⑤一番肝心のSPACの理解度が、まだまだ不十分で勉強が必要です。

「習うよりも慣れる」だとも考えております。「複眼」を持ち、機会を見つけながら今後も活動したいと考えております。

株式会社ニークシステムテクノロジー 技術部課長 矢野賢一氏

わたくしは、これまで長年に渡りシステム開発に従事してきました。従いまして、前半はこれまで携わったことのない作業領域でしたので、概念や手法などを理解するのがやっとでした。実際、セミナー開始当初は話についていくことがやっとでしたが、回を追って理解を深められてきたのが実感として感じられました。今では論理的な理解は、かなり深まったと思えます。

受講期間中は、持ち帰りの課題が業務都合で時間を割けず、ケーススタディに取り組みなかつたので、今後はぜひとも、「レベル4の展開と、レベル5～6をAVANTAGE Active Modelerを用いた実検証」を、実践してみたいと考えております。

このひと月の長い期間が逆に充分考える時間を設けることができ、実のある十月になったと振り返ることができず。本当にありがとうございました。

これから、ビジネス契機として、また、個人活動として習得した知識をどのように活用し活動してゆくかは、今後、じっくり考えなければなりません。まずは、このセミナーで習得したことを部下に伝え、トライアルでも「実践する」ことこそが大切なことであると思えます。

日本コンピュータダイナミクス株式会社 執行役員・業務監査室長 伊藤敬介氏

約2.5日という変則的な参加になってしまったため消化不良は否めませんが、以前から数回に渡って弊社村山から概要は聞いていましたので何とか皆さんに迷惑を掛けずについて行くことができました。

前々から大変有効な理論とツールであるとは思っていましたが、あらためてそのことを実感いたしました。

内部監査室の立場から現在社内の監査をしております中でAs・Isを見える化したい業務が散見されておりますので、是非SPACを利用してそれを実現できればと考えております。

このことは当社の伊藤社長と松本専務にも伝えてあり、後には引けない状態にしてあります。

ただし、現時点ではまだまだ理解不足のため、一筋縄では行かないことは明白ですので、まずはもっと勉強します。

株式会社デジタルデザイン BP事業本部 サービス部長 今野 睦氏

吉原先生の経験が集大成された実践的な BPM について学ぶことができました。とはいえ、すべてを学べたわけではなく、まだまだ学ばなければならないことがわかったことが最大の収穫でした。

方法論には、提唱するだけで実践されていないものがあります。この点、「SPACはSPACで開発されている」ので、共感できました。

先生が実践されたことがあるかがベースとなっているので、教科書的な BPM コースとは異なり、実務で役立つそうです。特に、プロセス分解をルール化することで、粒度が一致するので、他のプロセスと比較でき、再利用できるという方法は、とても有益だと感じました。

また、演習問題の題材、出題の意図は含蓄があり、勉強になりました。

要望といたしましては、BPM の普及には、事例の充実が重要なので、他力本願ではありますが、PRD、MIND-SA のオープン化を切に期待いたします。

4日間ありがとうございました。

株式会社ロフテム

コンサルティング事業担当マネージャー 乗本 忠氏

- 総体的に SPAC0 の概念、スキーム、フレームワークの講習にもっと時間をさけていただけたらと存じます。
- SPAC マトリックスについては、もっと先生のご経験を交えたご説明をいただけるとより理解が深まったのではと思います。
- 個人的には、もっと脱線してもよろしかったのではと思います。先生のご経験や識見など色々と刺激、啓発を受ける部分が多々ございました。
- 講座の構成として、可能でしたら SPAC 理論編と実践編と2つに分けていただけたらと思います。実践編の方では SPAC10 の操作や BPM 自体の表記法、BAM などのビジネスプロセスモデリングを実習形式でおこなうのはいかがでしょうか。
- SPAC0 を有償でも結構ですから公開していただけたら非常に嬉しく存じます（あまり高額ですと手がだせませんけど）。



人を生かしITを生かす全ての努力は申し合わせたようにプロセス改革に収斂しています。BPMは究極のビジネス改革技術です。しかし、これまで、掛け声ばかりで、その具体的技術は、無いに等しい状態でした。このプロセス管理システム化に10年の試行錯誤の末、SPACナビ10を完成いたしました。後は、この人間ロケットエンジンの操縦技術を習得しプロセス改革を実践するだけです。そのため、BPMプロフェッショナル養成基礎コースが誕生いたしました。

1. BPMプロフェッショナル養成基礎コースの目的・ねらい(Why)

【目的】

- ◆ BPMプロフェッショナルとしての基礎能力習得

【ねらい】

- ◆ ビジネスの持続的競争優位を実現するプロセス志向経営人材を育成
- ◆ 全マネージャーの守備範囲がバナンスに、プロセス可視化管理を導入

3. 本コースの参加者(Who1)

- ◆ BPMプロフェッショナルを目指す実務経験者
- ◆ 企業内ビジネス改革指導者、または担当者
- ◆ 近い将来、プロセス志向経営を目指す経営幹部スタッフ

4. 本コースの講師陣(Who2)

- ◆ 主担当講師 吉原塾・塾長 吉原賢治 (SPAC 開発者)
- ◆ 副担当講師 村山俊生 (ナビ10基本設計担当者)
- ◆ ナビ10インストラクター

6. 基礎コース実施日程(When)

- ◆ 開始日時: 2011年1月29日 9:30~
 - ◆ 毎週土曜日4回開講
 - ◆ 最終日: 2011年2月19日
- ※「応用コース」日程は、「基礎コース」終了時に告知いたします。

7. 実施場所(Where)

- ◆ 東京都品川区西五反田 4-32-1 (TEL: 03-5437-1021)
<http://www.ncd.co.jp/company/map1.html>
- ◆ 日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社会議室

2. 本コースのカリキュラム(What)

【基礎コース】

- ◆ SPAC方法論イントロダクション
- ◆ SPACナビ10の基本構造理解
(インストール実習)(BPMSとの関連)
- ◆ ナビストーリー解説
- ◆ 3PL事業モデルの設計ケーススタディ
- ◆ 3PL事業モデル設計定義事例の解説・討議
- ◆ 操作手引書の解説・実習
- ◆ ビジネスプロセス資源管理体系の解説・討議
- ◆ BPMF、BPGM、BPLCコンセプト解説質疑

BPMF = Business Process Management Framework
BPGM = Business Process Governance Management
BPLC = Business Process Life Cycle

※詳細カリキュラムはコース説明会参加時に案内いたします。

【応用コース】

- ◆ プロセス改革プロジェクト設定によるチーム実習

5. 実施方法(How)

【基礎コース】

- ◆ 合計4日間/8単位実施(1単位3時間)
- ◆ 休憩は適宜とります。昼食は1時間です。
- ◆ 質疑には、全員参加の発言を求めます。
- ◆ 教材: SPACナビ10、資料配布など

【応用コース】

- ◆ 毎週土曜日開講
- ◆ 毎週1回・4回スクーリング実習・宿題方式

8. 参加費用(How Much)

- ◆ 基礎コース: 1名 15万円 2名 25万円
(教材費、昼食代込。税別)
- ◆ 応用コース: 別途お問合せください。

お申込はこちらから